



装幀 芦澤奈保

定価 700円

A5B



# 美を見て死ね 堀越千秋

Horikoshi Chiaki

「美を見て死んだ男」  
堀越千秋が厳選した至高のアート130!



『週刊朝日』連載(2014~16年)  
珠玉の名品を独特の視点で語る  
最後の痛快アート・エッセイ!

千秋君は、美を発見する名人だった。  
たとえその一端にせよ、  
千秋君が見た美をこうして残してくれたことは、  
わたしたちにとって貴重な財産になるだろう。

逢坂剛 (作家・本書より)

堀越千秋 (ほりこし・ちあき)

画家、エッセイスト、陶芸家、カンタオール。

1948年東京都生まれ。東京芸術大学大学院油画科専攻修了後、ヨーロッパ各地を放浪。1976年スペイン政府給費留学生としてマドリードに定住する。以来マドリードに住み続け、ヨーロッパで高い評価を受ける。

『武満徹全集全五巻(小学館)』の装画で経済通産大臣賞。ライブテレビ「世界で一番美しい本」日本代表。全日空機内誌『翼の王国』表紙絵の連載でも知られる。カンテ(フランクの歌)の名手としても活躍し、フジロックフェスティバルにも出演した。

著書に『洗好み純粋正統フラメンコ狂日記』(1991年、主婦の友社)、『スペイン七千一夜』(2005年、集英社文庫)、『赤土色のスペイン』(2008年、筑書房)、『絵に描けないスペイン』(2008年、幻燈書房)など多数。

2014年スペインの文民功労章を受章。

2016年10月31日、マドリードにて死去。